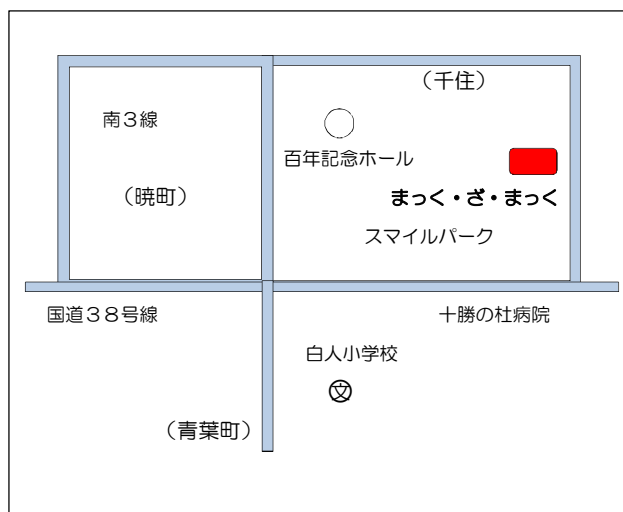


一人でなやまないで一緒に考えよう

○子どもカウンセラーなどが、青少年の教育問題や家庭・地域の教育問題について、電話相談をお受けしています。また、他の機関の相談窓口も合わせてご利用ください。

相談窓口	電話番号	相談時間
子どもカウンセラー	0155-56-7821	月～金 10:00～16:00
まっく・ざ・まっく	0155-56-8141	上記以外
幕別町教育委員会	0155-54-2006	月～金 8:45～17:30
こどもフリーダイヤル (子ども相談支援センター)	0120-3882-56	毎日24時間
少年相談110番 (北海道警察本部)	0120-677-110	月～金 8:45～17:30
十勝子ども家庭支援センター	0155-22-3322	毎日24時間
教育相談電話 (十勝教育局)	0155-23-4950	月～金 8:45～17:30

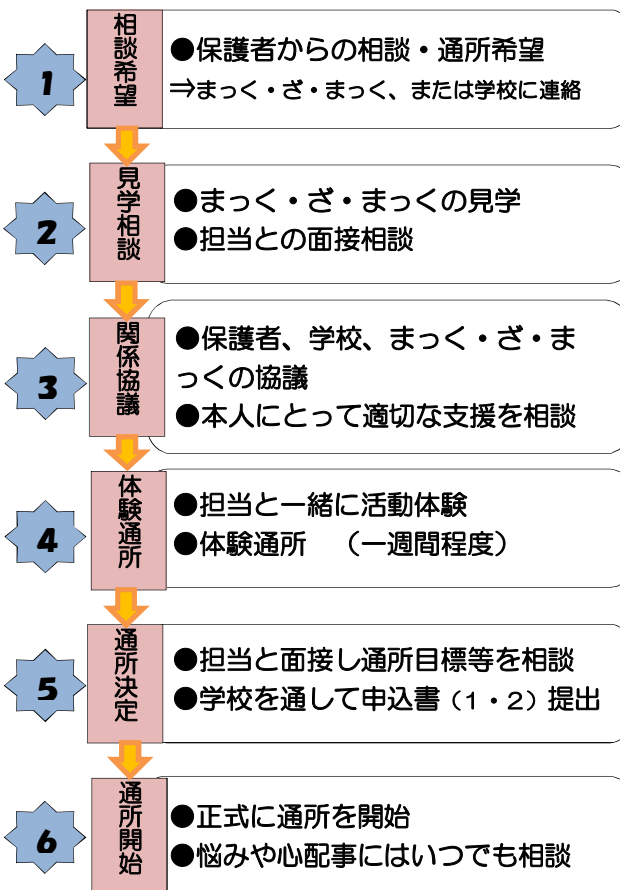


通所までの流れ

施設利用を希望する場合は、面接相談からスタートします。下記へ電話をしてご相談ください。

相談先

- ・各学校
- ・まっく・ざ・まっく 子どもカウンセラー
☎0155-56-7821
- ・幕別町教育委員会
☎0155-54-2006



幕別町子ども交流施設

まっく・ざ・まっく



〒089-0563

北海道中川郡幕別町字千住 179-4

☎0155-56-7821

幕別町教育委員会

①「まっく・ざ・まっく」では…

子どもカウンセラー・スクールソーシャルワーカーが常駐しています。

- 様々な理由で学校へ行くことができてなくて悩んでいる幕別町内の小中学生で、本人が希望し、保護者及び校長からの要請を受け、認められたお子さんが通所します。
 - 学校にいけない児童生徒の不安や悩みについて、教育相談を通して解消し、楽しく生活しようとする意欲を引き出し支援しています。
 - 教科学習や体験的活動等を通して基礎学力を補い、集団適応力を高め自立や学校復帰のお手伝いをします。
- (その他施設としてのまっく・ざ・まっくの役割)
- 子どもの居場所づくりや交流を通してその自立や社会参加を支援する民間団体の活動の活性化を図ります。
 - 発達障害等のある幼児児童生徒を支援する民間団体の利用を進めます。
 - 不登校の児童生徒を支援するためにカウンセリング等の助言・援助を行う民間団体の利用を進めます。

②開設している日は…

＊毎週 月～金
10時から16時まで
＊閉所日は
土曜日・日曜日・祝日
年末年始

- ☆ゆっくり安心して過ごすことができます
- ☆様々な人と出会うことができます
- ☆様々な体験活動ができます
- ☆生活リズムを整え興味をもって学習できます

③まっく・ざ・まっくでの学習活動は…

◆無理なく興味関心のあるところから様々な活動を組み入れて計画していきます。

- ＊個々の状況に応じた補足的な学習活動。
(学校と相談の上、進度に合わせたドリル学習・理解度に合わせた振り返り学習等を進めます。学校のテストをまっく・ざ・まっくで受ける場合もあります)
- ＊興味関心に合わせた幅広い学習活動。
(制作活動・絵画・粘土・陶芸・プラ板園芸栽培活動・調理実習・音楽・楽器手芸・読書・文芸 等)
- ＊野外体験・サイクリング・軽スポーツトレーニングセンターでの運動 等

④効果的な支援の視点とは…

＊家庭、学校、まっく・ざ・まっくが効果的に「つながる」ための6つの視点

『まっく・ざ・まっく』は「安心できる場所」「自信を育む場所」「意欲を高める場所」です。家庭、学校、まっく・ざ・まっくのつながりを一層密にし、児童生徒が生き生きと活動に取り組み、学校復帰・社会的自立へと歩むことを効果的に支援します。

【個に応じた支援】

視点① 学習や発達の状況、特性、家庭の状況等、児童生徒の多面的な情報を整理してつながる

視点② 安心できる居場所づくりのため、児童生徒の興味関心のあることを見つけつつつながる

【情報共有による支援】

視点③ 子どもカウンセラーを中心に児童生徒に関する様々な人から情報を収集し、共有することで、チームとしてつながる
(個人情報の守秘義務は厳守)

視点④ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を交えた支援体制を築いてつながる

【見通しをもった支援】

視点⑤ 児童生徒が安心して活動するために目標(短期・長期)を決めてつながる

視点⑥ 児童生徒が自信をもって取り組むために、活動の振り返りを次の目標に活かしてつながる